

自治を考える ～ 生徒会役員改選

次はわたしたちが光海中学校をつくる！！

生徒会～生徒の手で行われる自治的組織



朝の選挙活動の様子

いま、選挙活動がおもしろい！？

朝から校門や校舎内で、元気な声が聞こえます。「楽しい学校をつくりましょう」「みなさんの1票を〇〇にお願いします」一生懸命で明るい元気な声です。次の生徒会役員立候補者とその応援者が、登校してくる生徒を待って、自分たちをアピールしています。

自分や自分たちの関することを、自らの責任において、行っていくこと。これが、自治であると考えます。生徒会は、生徒たちが学校生活を送る上で、問題点や課題を解決しながら、学校生活が円滑に動いていくように、組織を作って、それを運営していきます。その活動の中に、学校行事への参画や専門委員会活動の活性化を目標にした活動があります。

学校は、一つの社会です。生徒会活動を通して、よりよい人間関係と学校生活を送る集団づくりを目指します。生徒会本部役員は、その生徒会組織を、学校を代表する生徒会長とともに取組を推進していきます。

今ここで、光海中学校全生徒に問います。

「光海中学校生徒会は生徒全員の主体的な自治活動を行っているか」と。ポーッと学校生活を送ってませんか？生徒会役員任せになっていませんか？・・・5歳のチコちゃんに叱られそうです。

令和元年の生徒会役員の任期もあと1ヶ月になってきました。3年生が引退し、生徒会活動も次へとバトンが渡されます。

一生徒として、どうすることが生徒会の自治活動に参加していることになるのでしょうか？また、これまでの先輩を超え、光海中学校の新しい生徒会をつくっていくにふさわしいのは、誰なのでしょう？



教室での選挙活動の様子

どんな学校を目指す？

平成31・令和元年の生徒会役員は、とても一生懸命にその役目を果たしてきました。立派なリーダーシップでした。だからこそ、そのリーダーシップに応えるメンバーシップに支えられた活動を全生徒がしているのかを問いたいのです。一人一人が輝く、笑顔を大切にした学校であってほしい。一人一人が存在を認められ、元気の出る学校であってほしい。そういう学校を、生徒のみなさんと先生たちとでつくっていききたい。

一人一人の存在が認められること～

今、学校では、**人権学習**に取り組んでいます。この時期だけでなく、常に意識されていなければならないのが、身近な人権意識です。

学校・学級が楽しい？学校や教室は全員のもので、その中で、友だちとの関係に悩んだり、学級が楽しく感じられなかったりしている生徒がないとは言えません。身近な人権意識を持つことはとても大切です。

1 年生－差別や偏見～人との違い（身のまわりの人権）

2 年生－貢献～人権を守る・支える（社会生活の人権）

3 年生－差別や偏見～理解不足からの人権侵害（広い人権理解）

☆12月3日全校（小6～中3年）で人権について学習しました。

身近な人権を考えるために、5つのコースに分かれて学習しました。



Aコース－障害のある方を支えるためのマークについて学習しました。

Bコース－世界の子どもたちの様子を知ること子どもの人権を考えました。

Cコース－見方が違うと物事のとらえ方が変わり、思いこみになることを学習しました。

Dコース－人権をテーマにした絵本から学習を深めました。

Eコース－高齢者・妊婦体験をすることで、体を自由に動かせないことを理解しました。

だから、わたしたちは何を大切にしなければならないのかを考えなくてはなりません。

学校に毎日通える日本の子どもたちの人権は守られている？

考えよう。身近な人権。

知って行動しよう。全ての人の、一人一人の人権のために。

